

2026 年 8 月 28 日

各 位

会 社 名 クオリップス 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 草 薙 尊 之
(コード：4894、東証グロース市場)

クオリップス代表 草薙が「万博レガシーイベント」のステージセッションに登壇
— 大阪への本社移転の経緯と「大阪をバイオの聖地に」という将来展望を語る —

当社の代表取締役社長 草薙尊之は、2026 年 8 月 21 日～8 月 23 日に開催されました万博レガシーイベント「Resona EXPO Re:Future」のステージセッション「万博 閉幕後の歩みと広がり」に登壇いたしました。



本セッションには、吉村洋文 大阪府知事や参画企業の代表者が登壇し、万博の成果や今後の展望について議論が交わされ、草薙は、当社が本社を大阪へ移転した背景やヒト（同種）iPS 細胞由来心筋細胞シート（販売名：リハート®）の今後の展望について語りました。

草薙は冒頭、万博を通じて感じた地域の熱気と行政の前向きな姿勢に触れ、本社を東京から大阪へ移転した理由について、「大阪には『違うこと、新しいことをやろう』という強い新進の精神とベンチャー精

神があります。皆様と接する中で意思決定の早さとビジネスライクな推進力を実感し、本社移転を決断いたしました。よき大阪府民・市民として、地域社会に貢献してまいります。」と述べました。

さらに、今後の事業展開および社会還元に向け、草薙は以下の4つの柱を提示しました。

- **心筋シートの世界普及：**

万博での認知拡大を契機に各国政府からの引き合いが増加しており、早期のグローバル展開を目指します。

- **軽症心疾患への適応拡大：**

より軽症な心臓病にも応用可能な製品開発を進め、「心臓病で失われる命をゼロにする世界」の実現を目指します。

- **多臓器（肺・肝臓・糖尿病等）への技術展開：**

独自の再生医療技術を心臓以外の多臓器・疾患へ応用し、医療の可能性を切り拓きます。

- **大阪を「バイオの聖地」へ：**

周辺産業を巻き込んだエコシステムを大阪で構築し、「バイオ産業の集積地」として地域経済の発展に貢献します。

また、「Resona EXPO Re:Future」では当社澤最高医療科学責任者もトークイベントに登壇し、未来医療がもたらす医療技術の進歩や、今後の再生医療の普及と社会実装に向けた期待と課題について熱く語りました。



当社は、iPS 細胞技術をはじめとする最先端再生医療の実用化と世界への普及を加速させるとともに、大阪の地からイノベーションを発信し、持続可能な地域社会と医療の未来に貢献してまいります。

(本件に関するお問い合わせ先)

クオリプス株式会社 経営企画部

cuo_ir@cuorips.co.jp